

# 新しい乳房画像診断

## New Technology of Breast Imaging

乳腺トモシンセシス検査は、乳房の断層画像を得る新しい画像診断法です。従来のマンモグラフィと比較して、病変と乳腺の重なりが少ない画像が得られます。現在、国立がん研究センターでは、ドイツシーメンス社との共同研究を進めています。乳癌術前診断における乳腺トモシンセシス検査の有用性に関する研究をご紹介します。

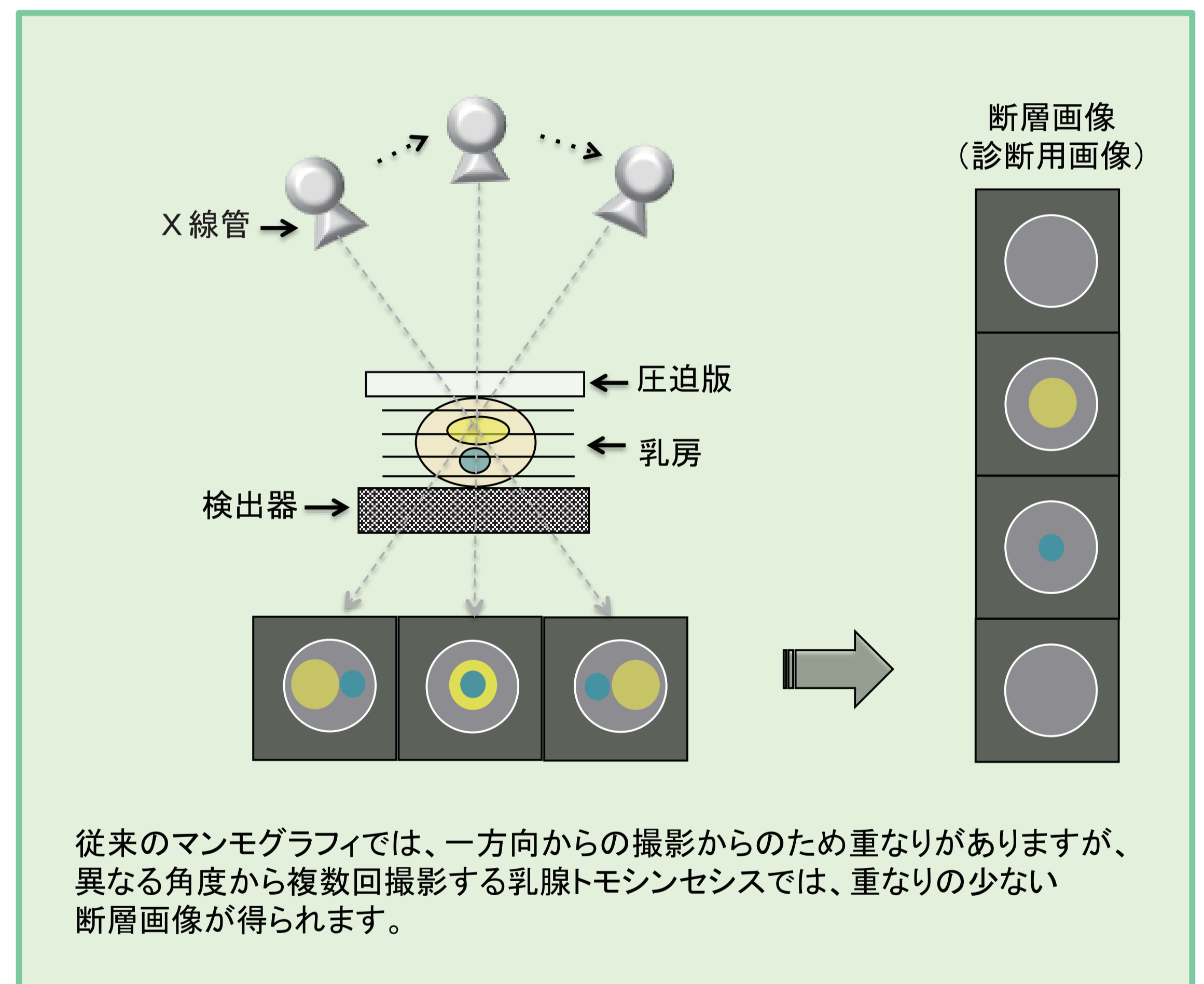
### 乳腺トモシンセシス検査 Digital Breast Tomosynthesis

乳腺トモシンセシスは、異なる角度から複数回の撮影を行うことにより、乳房の断層画像を得る新しい画像診断法です。従来のマンモグラフィと比較して、病変と乳腺の重なりが少ない画像が得られるため、特に、乳腺が豊富な日本人の乳房において、診断能の向上が期待されています。

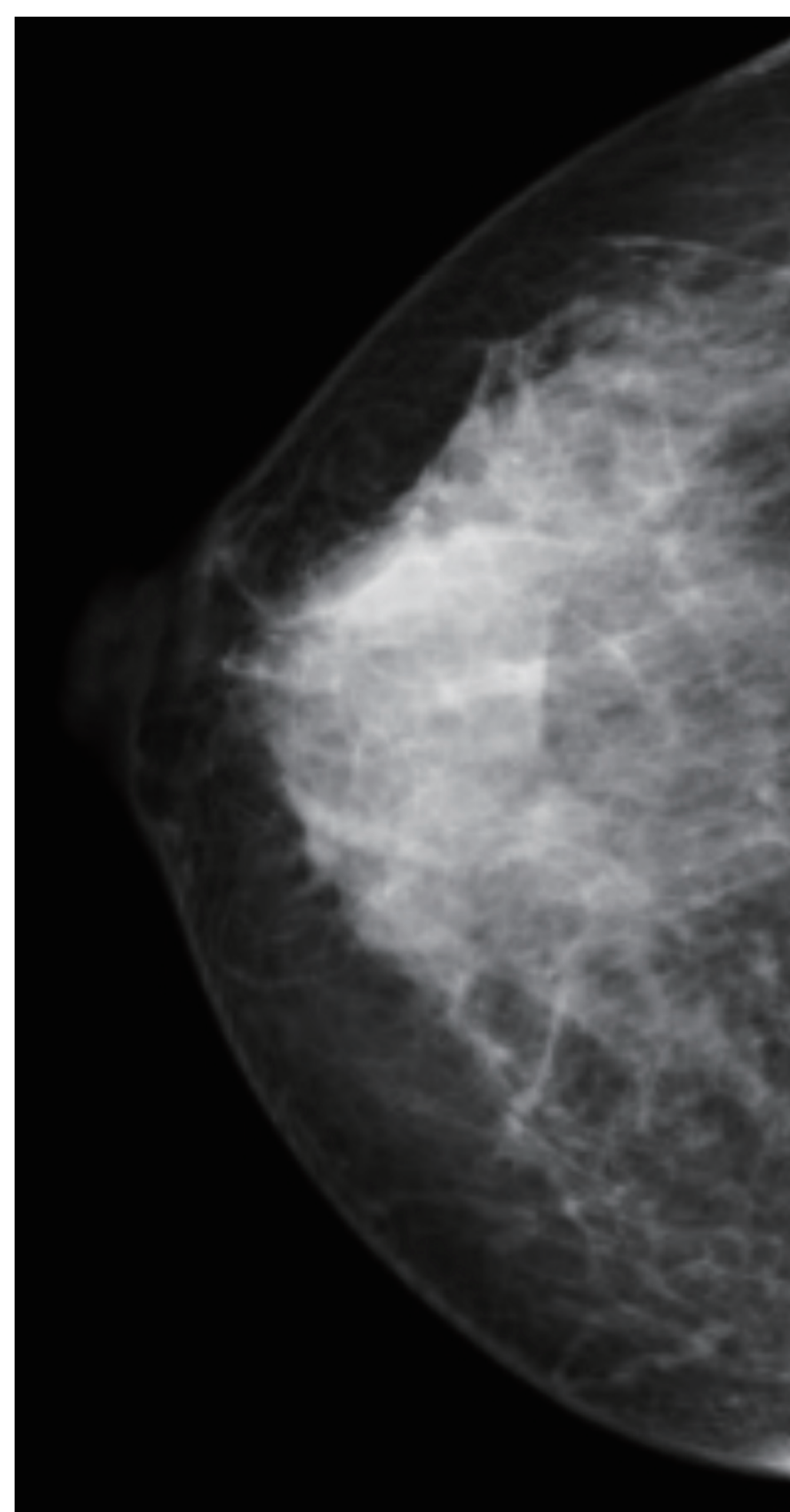
国立がん研究センターでは、2009年から、ドイツシーメンス社との共同研究が行われており、乳癌術前診断における診断能に関する有用性が実証されてきています。本研究において、従来のマンモグラフィと比較して、マンモグラフィを併用した乳腺トモシンセシスでは、11.1%の検出率改善と28.8%の診断精度の改善が報告されました。

また、乳腺トモシンセシス検査では、マンモグラフィと同様に乳房を圧迫して撮影しますが、造影剤を用いずに低被ばくで簡便な検査を行うことができるのも利点の一つです。

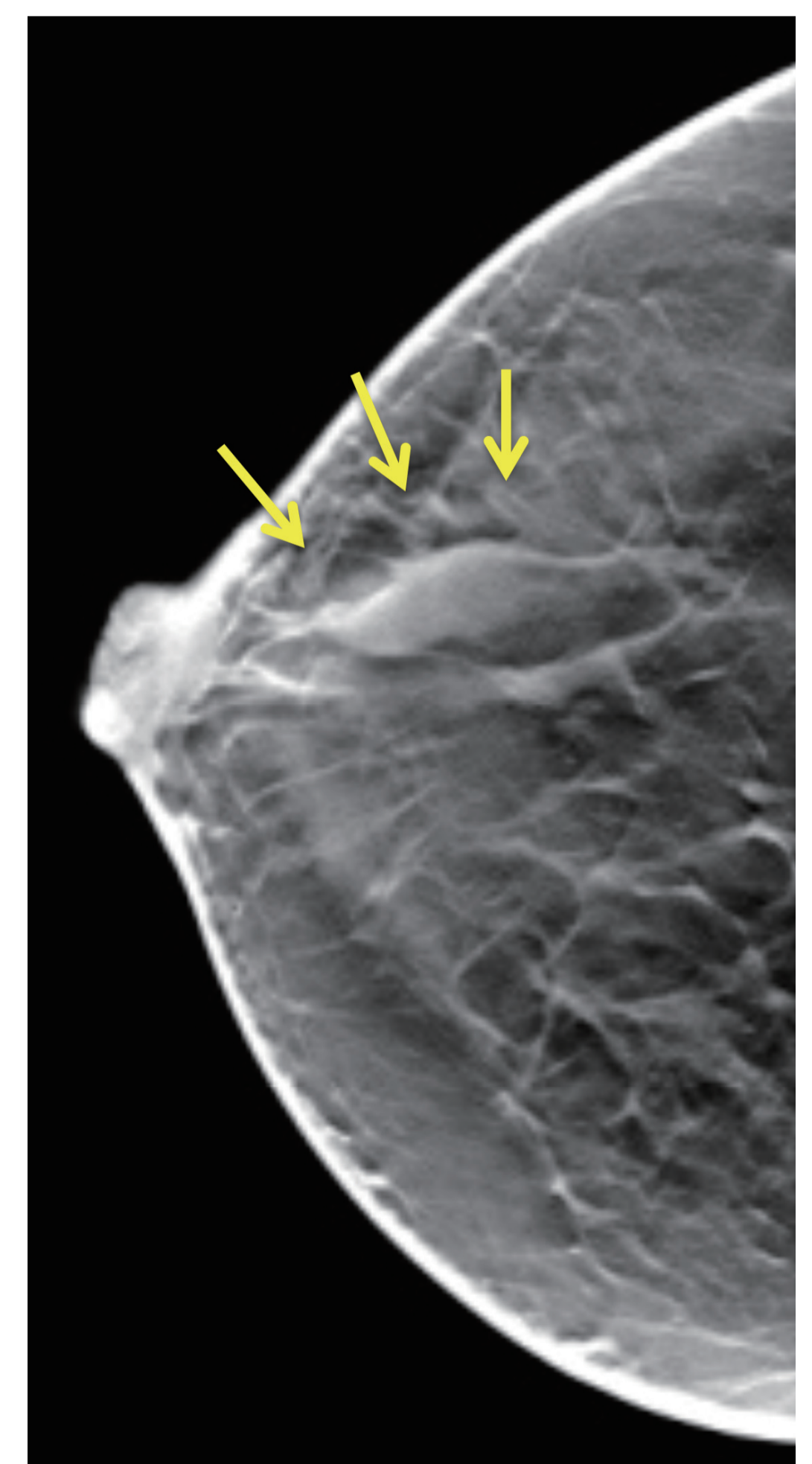
乳癌における診断の有用性が示され、今後は、乳癌検診での応用が期待されます。



乳腺トモシンセシスの原理



マンモグラフィ



乳腺トモシンセシス画像